

## JICA & APARI フィリピンプロジェクト 2年目が無事終了しました！

志立 玲子

2009年5月にJICAとの共同で始まったプロジェクト「マニラ市貧困層における薬物依存症者に対する回復支援推進事業」は無事2年目を終え、3年目に突入しました。

現在は、タタロンという町でNGO主導のARM（アクション・リハビリ・ミーティング）が月に2回開かれるようになりました。今後の展開次第では、マカティ市の施設内でARMが開催できるかもしれません。そうするとNGO主導型、行政主導型の両方が開催されることとなります。

この2年の間に、マニラでは大洪水に見舞われたり、大統領選挙に伴い治安の悪化が予想されJICAから渡航禁止が出されたり、不測の事態も起きました。しかし、プロジェクトに関するダルクメンバー、フィリピンのコアメンバーの活躍とカウンターパートの協力もあり、順調に進んでおります。

また、2011年度のJICAの年報「国際協力機構年報2011」に本プロジェクトが掲載されることになりました。草の根技術協力事業支援型からはアパリが選ばれたとのことです。大変光栄に思うとともに、アパリやダルクに対する期待も大きいのではと感じています。

今後は地域の方々の力を更に借りながら、残り一年、全力を尽くして活動してまいります。今後ともご支援のほどよろしくお願いいたします。

次回の渡航は5月9日～15日、三浦陽二、山本大、古藤吾郎の3名を派遣します。